

お鍬山 植物たより (H27. 4. 22)

お鍬山では今もウグイスの鳴き声を聞きます。今年が多いとか。3月上旬ごろはホーホケキョの声で、静寂の中、春告鳥らしく春が来るのを知らせてくれているのかと感動をしたのですが、いまは騒がしい気がします。

西山橋を渡って西山橋西交差点の眼前、お桑山の新緑の緑色の葉の間から真っ白な花を咲かせている樹木を見ます。満開のコバノガマズミです。遊歩道沿いの各所に見る事ができますが、4m近い大木はお鍬山では珍しいと思います。

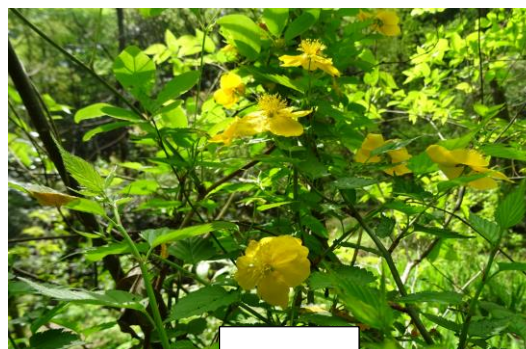
ヤマブキが南側・上流堰堤沿いに咲いています。お鍬山ではここ一か所のみですが、黄金色を山吹色というほどに親しまれている、鮮やかな黄色の花です。

ツツジも各所で見ることができます。コバノミツバツツジが散り始め、ヤマツツジが満開、モチツツジが咲き始めといったところでしょうか。(H26.5.15 掲載) お鍬山では東側斜面にヒラドツツジ、ドウダンツツジ・レンゲツツジを植栽しています。いま、そのうちのレンゲツツジ(キレンゲツツジ)(展望台直下)が満開です。

野草では、アマドコロとツボスミレが南側・上流堰堤沿いに咲いています。アマドコロは高さ40~50cm、一本の茎に葉をつけ、そのわきから淡緑白色の花を1~2個ずつ下向きにつける可憐な花です。同じユリ科でもあるスズランに一目似ています。ツボスミレは低地の水湿地に生育とのこと、上流堰堤はまさに適地です。葉は心形で、葉のわきから長い花柄を出し、小さな白い花をつけます。花卉に紫の筋があるのが特徴です。



コバノガマズミ



ヤマブキ



レンゲツツジ



アマドコロ



ツボスミレ